

intra-mart Accel Platform / Accelシリーズ

2024 Spring アップデート情報

株式会社NTTデータ イントラマート



目次

1. 製品開発・アップデート方針
2. ローコードでの先進技術の活用
3. DevOps機能の強化
4. BPM / ワークフロー機能の強化
5. システム / サービス連携の強化
6. アプリケーションシリーズ / OEM製品の更新
7. システム要件のアップデート
8. 要件情報公開サイトについて



01

製品開発・アップデート方針

製品開発・アップデート方針



1. 先進技術をローコードで活用

生成AIなどの先進技術を駆使したアプリケーション開発をスピーディーかつ手軽に実現するためのローコード機能の強化を実施しています。



2. 小さなスタートから持続的な成長へ

部門単位の小規模のシステム開発から全社規模の開発までをサポートしたDevOps機能の強化を実施しています。開発体験の統一と開発生産性の向上を目指します。



3. 正確な業務把握から全体最適へ

業務プロセス改革を実現するためのプロセス可視化から改善・実装に至るまでの、上流工程の要件定義を支援するBPM/ワークフロー機能を強化し、業務の全体最適化と自動化を実現するための開発を実施しています。



4. システムを繋いで業務を効率化

既存システムや他製品・サービスとの柔軟な連携が可能となるための機能強化を実施しています。例えば、既存の基幹システムはそのままの運用で、intra-martは基幹システムのフロントシステムとして運用する、などの柔軟なシステム開発の実現を目指します。

2024 Springの機能強化方針



1. 先進技術をローコードで活用



生成AIサービス連携

2. 小さなスタートから持続的な成長へ



DevOps/ローコード機能強化

3. 正確な業務把握から全体最適へ



BPM/ワークフロー 機能拡充

4. システムを繋いで業務を効率化



他製品・サービス連携

エンタープライズ・ローコードプラットフォームの実現へ

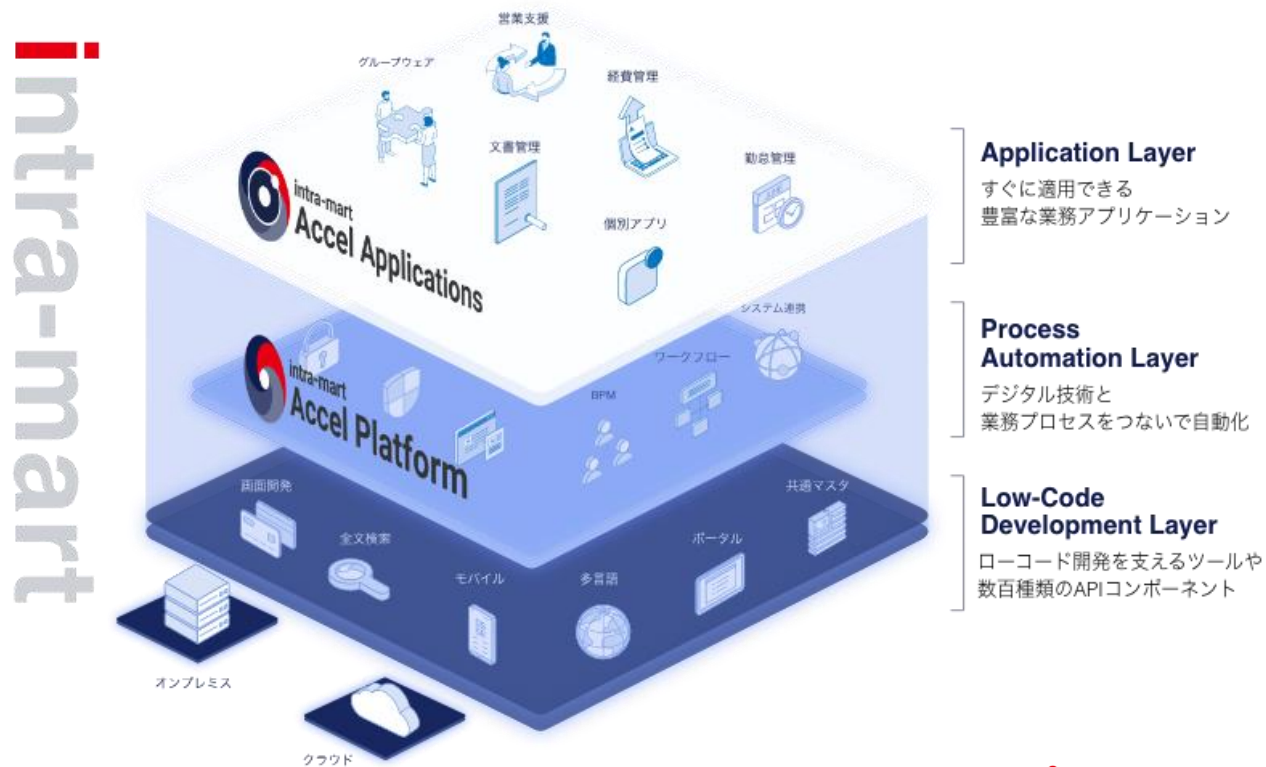
intra-mart Accel Platformが目指すもの



デジタル業務改革、もっと手軽に
エンタープライズ・ローコードプラットフォームで実現
Making digital business transformation easier by Enterprise Low-Code Platform

intra-mart Accel Platformは、
企業のデジタル業務改革を実現するた
めの機能強化を実施しています。

業務の効率化をスピーディーに実現可
能なエンタープライズ・ローコードプ
ラットフォームとして、全体最適化され
たシステムの開発・運用が可能なプラッ
トフォームを目指しています。



02

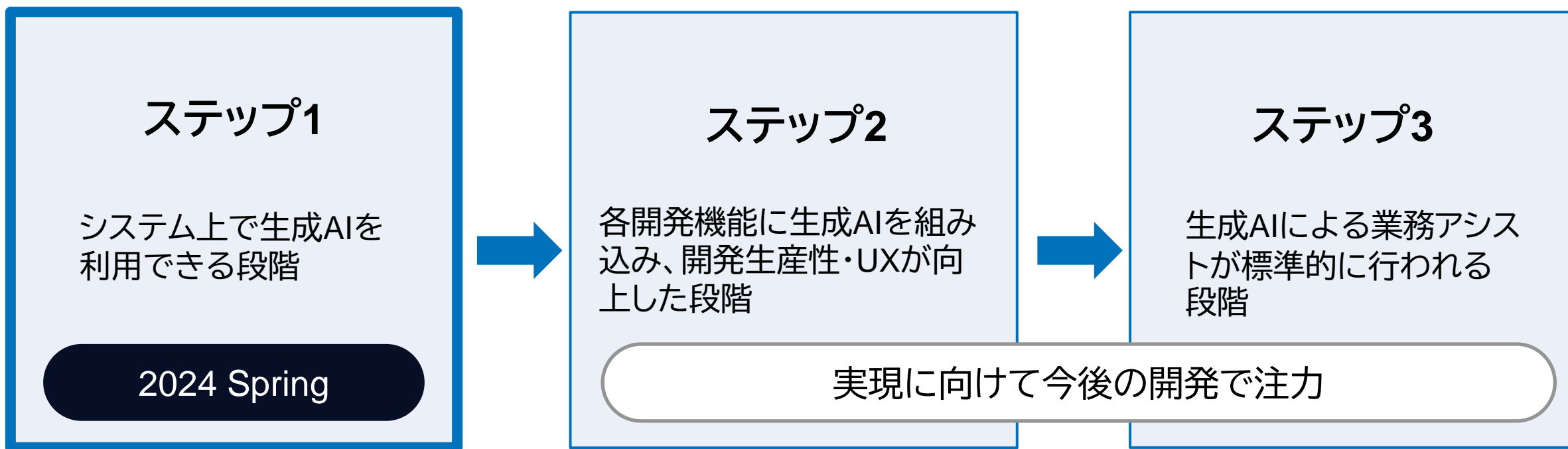
ローコードでの先進技術の活用

intra-martにおける生成AI活用の開発方向性

機能追加

生成AI連携モジュール

intra-martでは以下のような3段階のステップで生成AIの活用を予定しています。2024 Springのリリースはその1ステップ目にあたります。



生成AIを活用したシステムの例

「社内ヘルプデスク」としての活用

業務データや業務マニュアルなどをAIに学習させ、ユーザからの質問に回答させる



「休暇の申請方法を知りたい」
「〇〇案件の現在の情報を知りたい」
など

各種手続き方法や業務に関する社内問い合わせを効率化し、担当者の負担を軽減

AIによる入力候補の提案/自動入力

申請画面でいくつかの項目を入力すると、残りすべての項目の入力内容をAIが予測し、入力候補提案、自動入力を行わせる



入力作業時間の短縮し、データ入力ミスの防止により、業務効率化や品質の向上を実現

生成AI連携モジュールの追加

新規提供の「生成AI連携モジュール」(IM-Copilot)により、システム上で作成した**アプリへ生成AIを組み込むことができる**ようになりました。

これにより「**アプリユーザの業務効率化**」「**成果物の質向上**」「**コンテンツ準備コストの軽減**」が見込まれます。

生成AI連携モジュールで実現可能なこと

コンテンツ生成

- 文章生成 / チャット
- 文章要約 / データ抽出
- 画像生成
- 音声からの文字起こし

業務運用支援機能

- コンテンツモデレーション
(業務データの監視)
- ログ記録

テキストを生成する

生成AIを活用した業務システムの実現例

顧客へ送信するメールの本文、営業日報、申請手続きでの入力など、様々なシーンで発生する文章作成をAIがアシストします。

申し込みフォーム

申請内容を記載して下さい

XXX物品の購入の申し込み
来月までに必要だが早急な発注が必要



入力された内容を元に、XXXの申し込みに必要な文章を作成して下さい



申し込みフォーム

申請内容を記載して下さい

件名: 物品購入の申請について

日頃より大変お世話になっております。この度は物品購入に関する申請をさせていただきます。

【購入希望物品】

- 物品名: XXX
- 数量:
- 用途:

【理由】

来月までに上記物品が必要となりました。そのため、早急に発注をお願いしたい事情がございます。

【希望納期】

- 納期: 来月〇日まで

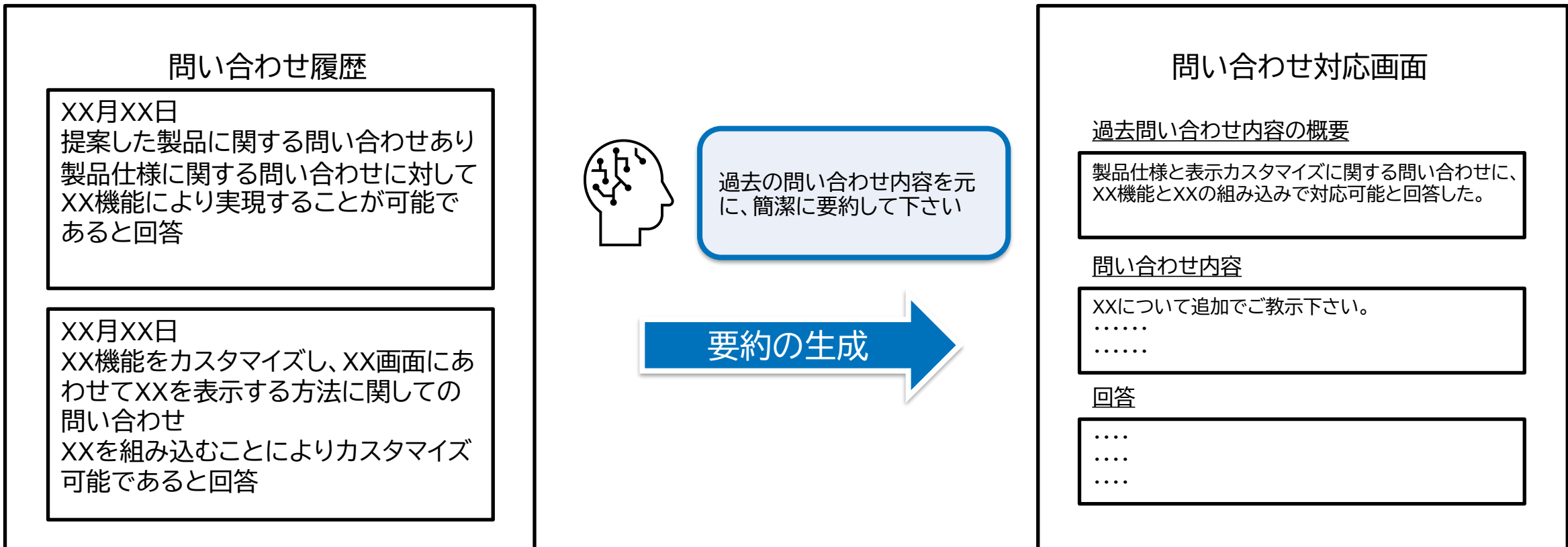
【その他特記事項】

以上、ご検討のほどよろしくお願いいたします。

テキストを要約する

生成AIを活用した業務システムの実現例

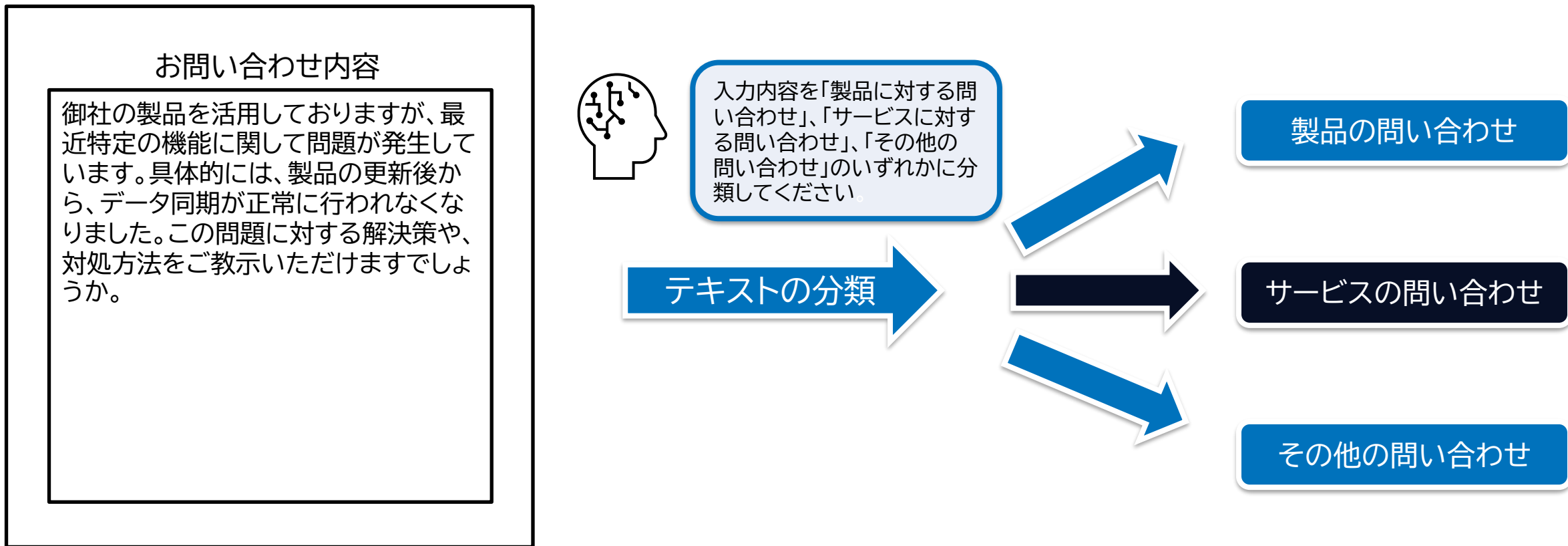
顧客とのやり取り記録や、ワークフロー回覧の履歴などをわかりやすく要約できます。
例えば、過去のやりとりを要約させることにより、次のアクションへの判断が素早く行えます。



テキストを分類する

生成AIを活用した業務システムの実現例

メールやフォーム入力結果などの不定型なテキストを指定したカテゴリごとに分類できます。例えば、ケース毎に異なる内容を分類し、業務プロセスやワークフローを開始することができます。



テキストを校正する

生成AIを活用した業務システムの実現例

入力されたテキストに対する誤字脱字の確認、より適切な表現へ提案など、文章の校正ができます。例えば、問い合わせ内容に対する回答文章を一定の品質や表現に統一させることができます。

お問い合わせ頂いた事象について調査とか動作確認やってみました、製品Aが使ってるライブラリBの要件が原因で起きてるかもしれないってことがわかりました。

弊社で調べたら、製品Cのバージョン1からはちゃんと値が取れることが確認できました。これは、バージョン1からライブラリBを新しくしたから、問題がなくなってる可能性が高いです。

すいませんけど、この問題を避けるためには、製品Cのバージョンをバージョン1以上に更新してもらえるといいかもしれません。



入力されたテキストに誤字脱字、不適切な表現があれば修正して下さい



文章校正

AIが文章の文法、誤字脱字、読みやすさをチェックします。 >

ご連絡申し上げます。

お問い合わせいただきました事象につきまして調査、および、動作確認を実施させていただきましたところ、製品Aで利用しているライブラリBの以下要件に起因して発生している事象である可能性が考えられます。

弊社にて調査を実施したところ、製品C バージョン1以降では正常に値が取得できることを確認しております。

こちらは、以下の要件にて バージョン1以降ではライブラリBのバージョンアップを行っているため、前述の要件が解消されていることで事象が解消されているものと考えられます。

恐縮ではございますが、本件の回避方法として製品Cのバージョンをバージョン1以降へのアップデートをご検討いただければと存じます。

以上、よろしくお願いいたします。

テキストからデータを抽出

不定型なテキストから、指定の項目の情報を抽出できます。
例えば、メール本文から場所、日時、連絡先などの情報を抽出させることが可能です。
これにより自然言語処理を必要とするデータ分析を素早く行うことができます。

お問い合わせ内容

いつも大変お世話になっております。〇〇株式会社の〇〇と申します。

この度は、プロジェクトに関する重要な打ち合わせを設定させていただきたく、ご連絡いたしました。皆様のご都合を伺い、下記の日程で調整を進めたいと思います。

【候補日】

- ・2023年4月25日(火) 14:00～15:30
- ・2023年4月26日(水) 10:00～11:30
- ・2023年4月27日(木) 16:00～17:30

ご参加いただける日時、またはご都合の良い日時をお知らせいただけますと幸いです。

また、参加が難しい場合は、別の日程で調整させていただきますので、ご一報ください。

【連絡先】

〇〇株式会社 〇〇(担当)

電話: 03-1234-5678

メール: example@example.com



入力内容から場所、日時、連絡先などの情報を抽出してJSON形式で出力して下さい

データの抽出

```
{
  "場所": "〇〇株式会社",
  "日時": [
    "2023年4月25日(火) 14:00～15:30",
    "2023年4月26日(水) 10:00～11:30",
    "2023年4月27日(木) 16:00～17:30"
  ],
  "連絡先": {
    "電話": "03-1234-5678",
    "メール": "example@example.com"
  }
}
```


画像生成

生成AIを活用した業務システムの実現例

テキストで指定した内容を元に画像を生成できます。
これにより広告素材の作成、プロトタイプ作成など、グラフィック系の作業を素早く行うことが可能です。



入力内容を元に、画像生成AIに受け渡すプロンプトを考え、画像を生成させてください

スーパーマーケットの広告イメージが必要です。
沢山のお客が商品を選んでいる画像を作成して下さい。

画像生成の指示

画像生成

AIが画像を生成します、指示は英語で出してください。 > (stabilityai/sd-turbo)

Supermarket advertisement showcasing special deals and discounts on products with people lining up eagerly

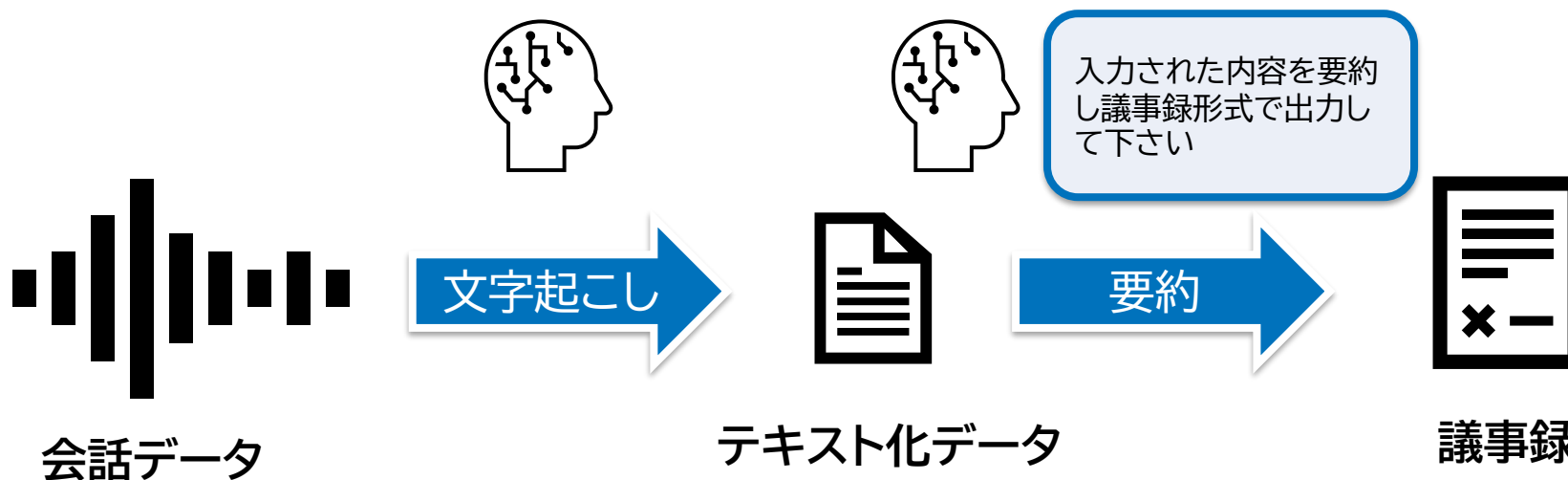
生成する

音声データからの文字起こし

音声での会話データをテキスト化できます。

[音声 → テキスト → 要約]、もしくは[音声 → テキスト → データ抽出]というように音声データから活用しやすいテキストデータに変換することもできます。

例えば、会議の音声データから議事録を作成させる、サポート窓口の問い合わせ内容をテキスト化してデータ分析を行うことなどが可能になります。



2024 Springで連携可能な生成AIサービス・利用条件

機能追加

生成AI連携モジュール

連携可能な生成AIサービス

- OpenAI
- Azure OpenAI

※今後のバージョンでの他生成AIサービスとの連携は検討中です。

対象バージョン

- intra-mart Accel Platform 2024 Spring以上のバージョン

対象エディション

- 【CSL】アドバンスエディション
- 【CSL】プロフェッショナルエディション

提供方法

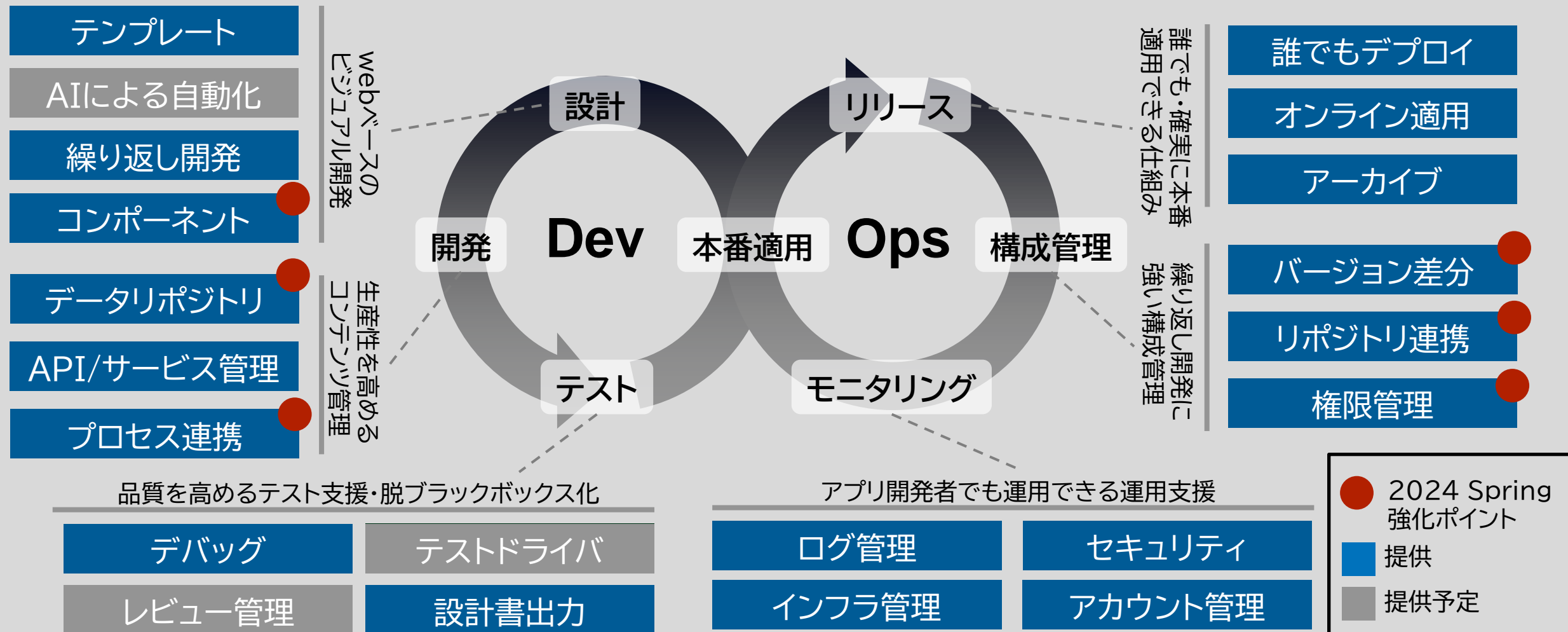
- IM-LogicDesigner部品
- スクリプト開発モデル向けAPI
- JavaEE開発モデル向けAPI

03

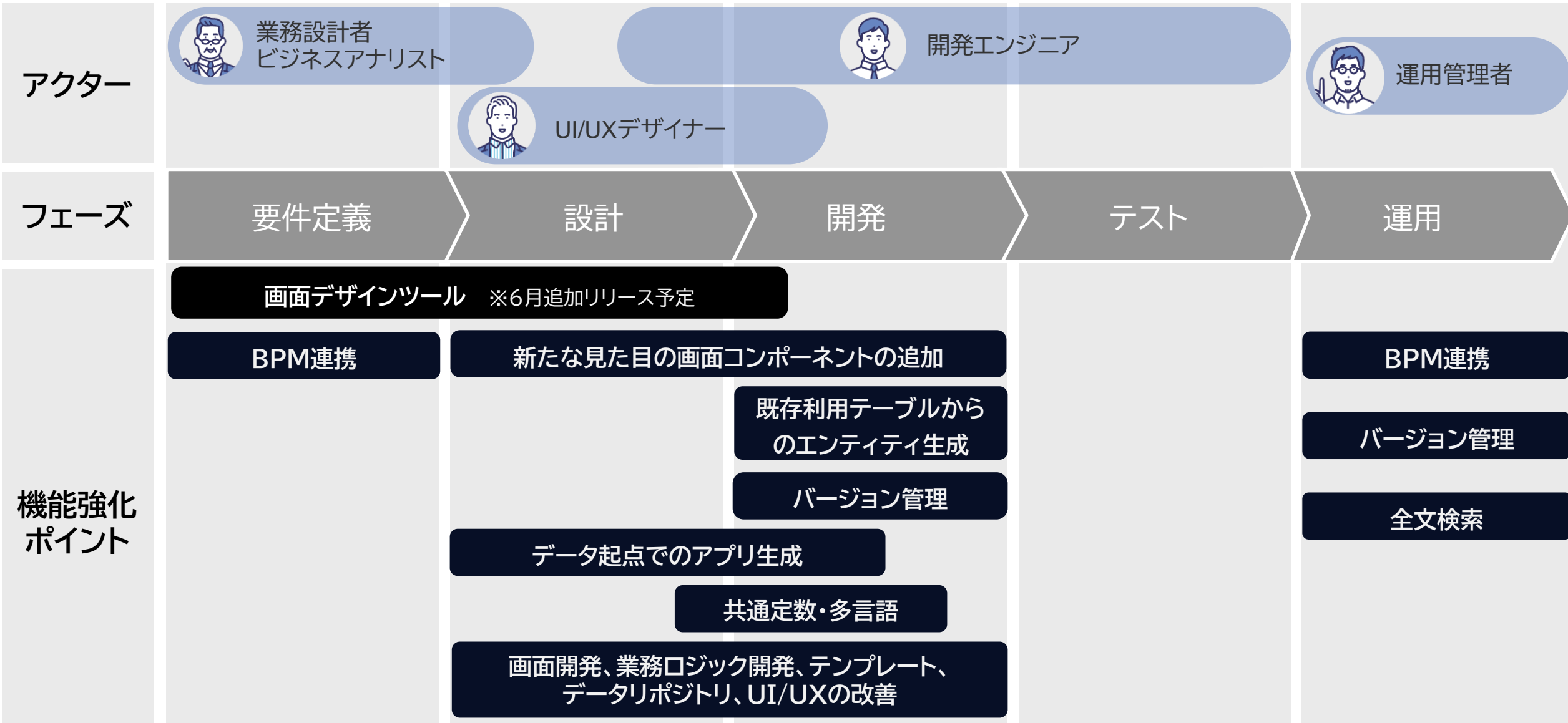
DevOps機能の強化

intra-mart Accel PlatformにおけるDevOps

intra-martのローコード開発は一般的なローコード開発と異なり、大規模システムの開発・運用に対応可能な各種DevOps機能を搭載しております。



各開発フェーズにおけるアクターと機能強化ポイント



中規模以上のローコード開発に便利な機能を追加

ローコード開発ツールのアップデートで**ローコード資材の管理がより便利に、複数人での同時開発がより行いやすくなりました。**

各ツールのアップデートの概要は以下の通りです。

※アップデート概要横の数字は、当該アップデートが対象とするアクターを示す番号です。

番号に対応するアクターは以下の通りです。

- ①業務設計者 / ビジネスアナリスト
- ②UI/UXデザイナー
- ③開発エンジニア / モジュール設計者
- ④運用管理者 / システム利用者

Accel Studio

- 自作テンプレートのインポート/エクスポート機能を追加〔②,③,④〕
→ 資材の別環境への移行がしやすくなりました

Accel Studio

- アプリケーション資材をGitHubで管理可能に〔②,③,④〕
→ 開発環境と本番環境などの資材管理の一元化などに有効
- 多言語・共通定数の管理機能を追加〔②,③〕
→ 画面・業務ロジック開発時に、Accel Studioでデータを管理、活用

IM-LogicDesigner / IM-Workflow

- 各定義の編集画面に排他制御機能を追加〔②,③〕
→ 複数人での同時開発がしやすくなりました

Accel Studioテンプレートに新機能を追加

お客様からのご要望が多かったデータ活用系の機能をAccel Studioのアプリケーションテンプレートへ追加し、**アプリ開発、利用時にデータを活用しやすくなりました。**

本アップデートは「UI/UXデザイナー」「開発エンジニア / モジュール設計者」向けの内容です。

アップデートの概要は以下の通りです。

「マスタメンテナンス」テンプレートへ以下の機能を追加しました。

- アプリビルド時にExcelファイルにまとめたデータをインポートして利用できるようになりました
- ビルドしたアプリからマスタを参照できるようになりました

IM-Repositoryの機能をアップデートしたことで、ユーザが**開発済みアプリのデータをより管理、活用しやすくなりました。**

本アップデートは「UI/UXデザイナー」「開発エンジニア / モジュール設計者」向けの内容です。

アップデートの概要は以下の通りです。

- テーブルをインプットとするエンティティ作成を支援できるようになりました
- エンティティ項目を共通マスタと連携しました

一貫性のある操作感や見た目の画面を開発する方法を提供

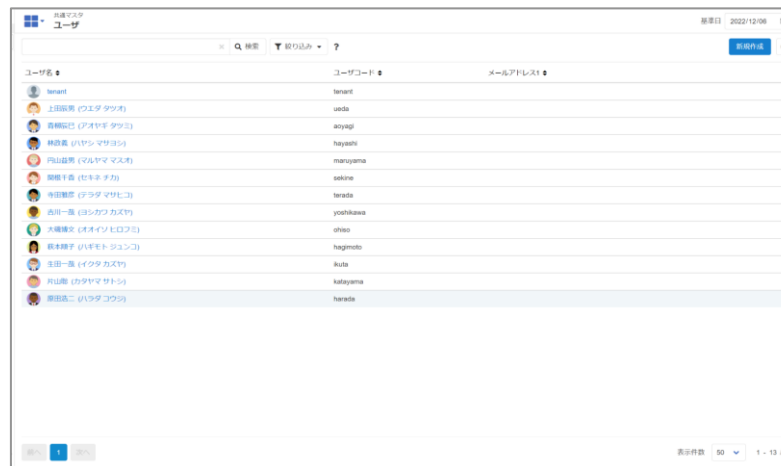
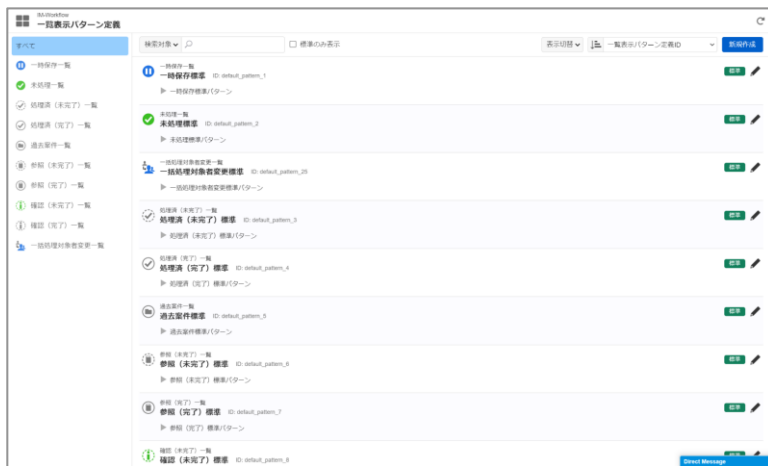
機能追加

IM-BloomMaker

IM-BloomMakerに新たなコンテンツ種別「imds」を追加しました。
画面開発者はUI/UXが考慮された画面コンポーネントを利用することで、**一貫性のある操作感や見た目の画面を作成できる**ようになり、**ユーザーのUX向上**も見込めます。

本アップデートは「UI/UXデザイナー」「開発エンジニア / モジュール設計者」向けの内容です。

開発サンプル画面



その他に2024 Springバージョンで行われたアップデートの概要は以下の通りです。

Accel Studio

- アプリケーション詳細画面のUI/UXを改善しました
- Accel Studioワークフロー管理画面を改善しました
- アプリ作成時にIM-Repositoryの列挙型をプルダウン選択肢として設定可能にしました

IM-BloomMaker

- 共通の「イベント」に「キー押下時」を追加しました
- デザイナーに「IM-BloomMakerユーザ操作ガイド」へのリンクを追加しました
- リッチテーブルの columnSettings に、日付のみを扱うタイプ dateOnly を追加しました
- リッチテーブルの日付表示時にフォーマットを指定できるよう改善しました
- リッチテーブルで変数入力規則に応じたバリデーションチェックを行うよう改善しました

IM-LogicDesigner

- CSV 出力ユーザ定義を提供しました
- ストアドプロシージャ実行ユーザ定義を提供しました
- メール送信タスクへ名前を指定する入力を追加しました
- Accel Documents 連携用タスクを追加しました

アップデート内容の詳細は要件情報公開サイトをご確認ください。
(<https://issue.intra-mart.jp/>)

04

BPM / ワークフロー機能の強化

BPMの差配機能を強化しました

差配機能を強化することにより、**ユーザがより効率的にシステムを利用できるようになりました。**

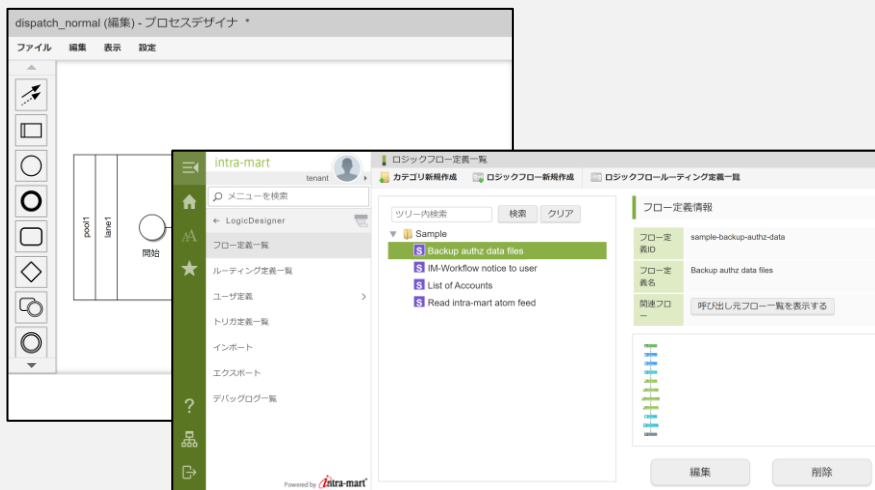
アップデートの概要は以下の通りです。

- マネージャー(管理者)の担当プロセス差配権限を用意
 - 現場のマネージャーがプロセスの滞留を解決できるようになりました
(2023 Autumn以前はプロセス差配権限はシステム管理者のみ)
- プロセスやタスクの進捗状況の可視化
 - プロセスが滞りやすい部分を見つけやすくなりました
- システム上のデータを元に差配先候補の情報を提示
 - 差配者が差配先を決定しやすくなりました

BPMのデザイナー画面から各機能への直接遷移を可能にしました

BPMプロセスデザイナー画面から他機能へ遷移する導線を改善することで、**BPM開発者がより円滑に開発を行える**ようになりました。

これまで



- 開発操作時のクリック数が多い
- プロセスエディタから直接遷移できない
- 定義一覧から再検索しなければならない

2024 Spring



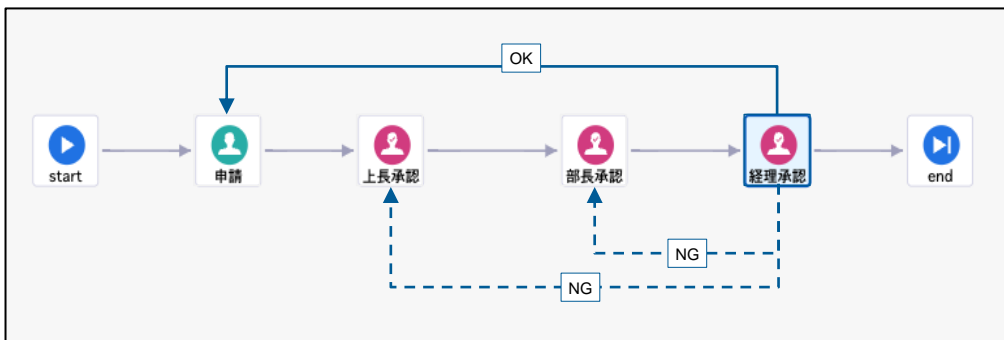
- プロセスエディタから直接遷移が可能
- 遷移先はタスクの連携するバージョン

差し戻し先制限機能を追加しました

機能追加

IM-Workflow

差し戻し先制限機能を追加することで、**ユーザはより多様な処理ケースでワークフローを処理できるようになりました。**



- 「差し戻し先は申請ノードのみにしたい」
 - 「ひとつ前のノードにのみ差し戻しさせたい」
 - 「ある程度進んだ案件については最初の方のノードに差し戻しさせたくない」
- など柔軟な差し戻し制御をしたい場合に有効

設定画面

差し戻し

差し戻しの実行を許可する

処理表示名 * デフォルトの表示名に戻す

日本語 * 差し戻し

英語 * Send back

中国語 (中国) * 退回

差し戻し可能なノード ⓘ

- ノード名
- 申請
- 上長承認
- 部長承認

処理画面

app73399 - 経理承認

基本情報 * ✓

承認 否認 保留 差し戻し ✓

← 差し戻し * ✓

基本情報

案件番号 0000000217

案件名 ノートパソコン購入

申請者 上田原男

申請基準日 2023/11/13

申請日 2023/11/13

処理者 * 寺田雅彦

担当組織 * その他課 0 1

優先度 通常

コメント

← 差し戻し

ノード名: 申請 ✓

処理名: 申請

処理者: 上田原男

差し戻し

その他のIM-Workflowアップデート内容一覧

その他に2024 Springバージョンで行われたアップデートの概要は以下の通りです。

- 処理対象者再展開ジョブに振替に関するパラメータを追加しました
- システム案件IDを指定して、処理画面や詳細画面へ遷移するURLが取得できるようになりました
- 処理モダルの保存済み設定を改善しました

05

システム / サービス連携の強化

Box連携機能の強化

以下のようなアップデートでユーザがよりシステムを使いやすくなりました。

- LogicDesignerタスク/Java/スクリプト開発の3つの方法について利用ガイドを提供します
- Box連携のロジックフローへのパラメータの渡し方を案内します

intra-mart Accel PlatformはBoxエコシステムソリューションとして認定されています。
本件の詳細については別紙をご参照ください。

- Boxエコシステムソリューション・APIコール課金について
<https://accel.im/27gmt4pr>

その他アップデート内容

機能改善

OAuth認証モジュール

OAuth認証機能

- OAuthのスコープを画面上から管理できるようになりました
- OAuthのスコープ選択時に、新たにスコープを作成できるようになりました

アップデート内容の詳細は要件情報公開サイトをご確認ください。
(<https://issue.intra-mart.jp/>)

06

アプリケーションシリーズ / OEM製品の更新

【アプリケーション】Accel Documents アップデート

機能追加

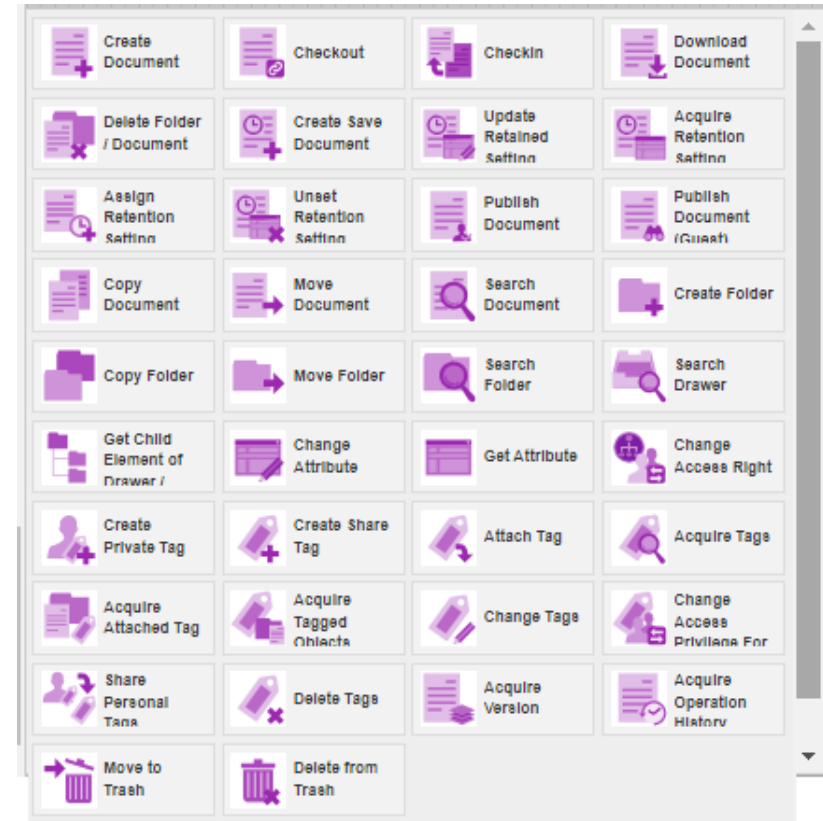
Accel Documents

Accel Documents連携用のLogicDesignerタスクを追加しました。

- タグの変更
- タグの削除
- タグリストの取得
- 個人タグの共有化
- 共有タグのアクセス権変更
- オブジェクトに付与されているタグの取得
- タグの付与されているオブジェクトの取得
- 「カスタム属性取得」ユーザ定義
- バージョン取得
- 操作履歴取得

今シーズンのタスク追加で、Accel Documentsにおける一般ユーザが可能な操作は全てIM-LogicDesigner上で実現可能となりました。

その他、「ログ出力の改善」や「操作性向上」を目的とした対応を実施しています。



2024 Springでアップデートされる製品

アップデート

OEM製品

以下のOEM製品は2024 Springでアップデートが実施されます。

- intra-mart Accel Kaiden!
- IM-PDFAutoConverter
- IM-PDFCoordinator
- IM-PDFDesigner/Designer Fullpack
- IM-PDFDirectPrint
- IM-PDFTimeStamper

アップデート内容の詳細は要件情報公開サイトをご確認ください。
(<https://issue.intra-mart.jp/>)

2024 SpringでCSLに対応する製品

アップデート

CSL対応製品

以下の製品はCustomer Success Licenseの全エディション(ベーシック/アドバンス/プロフェッショナル)で販売が開始されます。

- intra-mart Accel Archiver
- intra-mart Accel Collaboration アンケート
- IM-SecureSignOn

2024 Springでは機能追加がない製品

アップデート無し

CSL対応製品

以下のOEM製品は2024 Springでアップデート内容はありません。
また、CSLでの対応予定はありません。

- intra-mart Accel GroupMail
- intra-mart Accel Collaboration 電子会議室

07

システム要件／その他のアップデート

システム要件のアップデート

アップデート

システム要件

サーバ要件

[サポート対象追加]

- PostgreSQL 16

[サポート対象削除]

- PostgreSQL 11

クライアント要件

[バージョン更新]

- Google Chrome 122
- Microsoft Edge 122
- Android 10以上
- iOS 17以上

[サポート対象削除]

- macOS Big Sur

その他のアップデート内容

改善

Box連携/IM-BPM

以下の機能において、パフォーマンス改善を実施しています。

Box連携モジュール

- Boxユーザー一括連携ジョブの動作速度を改善

IM-BPM

- 処理済タスク一覧画面のパフォーマンスを改善

08

要件情報公開サイトについて

8. 要件情報公開サイトについて

要件情報公開サイトについて

本資料は要件情報公開サイトに記載されている内容のうち、主要なアップデートについて記載しています。

本資料に記載のないアップデート情報、各アップデート内容の詳細を確認したい場合は要件情報公開サイトを併せてご利用ください。

intra-mart要件情報公開サイト(<https://issue.intra-mart.jp/>)

The screenshot shows the 'intra-mart 要件情報公開サイト' (intra-mart Issue Information Site) interface. The page is divided into several sections:

- 検索:** A search bar containing the number '37020'. A red box highlights this search bar, with an arrow pointing to a text box that says 'チケット番号で検索できません' (Cannot search by ticket number).
- カテゴリ:** A list of categories including 'Accel Platform Mobile', 'Accel Studio', 'intra-mart Web Platform / Application Builder', 'IM-Annotation', 'IM-BIS', 'IM-BloomMaker for Accel Platform', 'IM-BPM', 'IM-ContentsSearch 7.2', 'IM-ERPリアルコネクト', 'IM-ExApply', 'IM-FormaDesigner', 'IM-Mail', 'IM-MobileFramework', 'IM-PDFAutoConverter', 'IM-PDFCoordinator', and 'IM-PDFDesigner'. A red box highlights this list, with an arrow pointing to a text box that says '機能・製品ごとに検索できません' (Cannot search by function/product).
- カテゴリ (右側):** A list of category links: 'https://issue.intra-mart.jp/projects/iap', 'https://issue.intra-mart.jp/projects/iac', and 'https://issue.intra-mart.jp/projects/bpm'. A red box highlights these links, with an arrow pointing to a text box that says 'カテゴリ' (Category).
- チケット番号:** A table of tickets with columns for 'チケット番号' (Ticket Number) and '機能' (Function). A red box highlights the 'チケット番号' column, with an arrow pointing to a text box that says 'チケット番号' (Ticket Number).

Red arrows indicate the flow of information from the search bar and category lists to the text boxes, and from the category links to the ticket list.

要件情報公開サイト: 2024 Spring対応要件へのリンク①

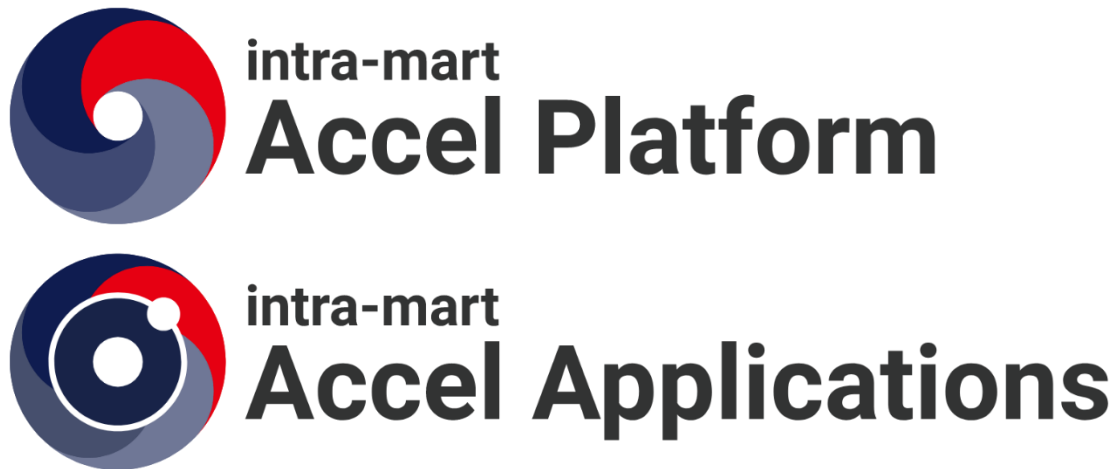
製品・機能	対応要件一覧URL
intra-mart Accel Platform	https://issue.intra-mart.jp/projects/iap/issues?query_id=923
Accel Studio	https://issue.intra-mart.jp/projects/accelstudio/issues?query_id=930
IM-BIS	https://issue.intra-mart.jp/projects/bis/issues?query_id=926
IM-BloomMaker	https://issue.intra-mart.jp/projects/bloommaker/issues?query_id=929
IM-BPM	https://issue.intra-mart.jp/projects/bpm/issues?query_id=950
IM-FormaDesigner	https://issue.intra-mart.jp/projects/forma/issues?query_id=927
IM-PDFAutoConverter	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfconv/issues?query_id=951
IM-PDFCoordinator	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfcrd/issues?query_id=952
IM-PDFDesigner	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfdes/issues?query_id=953
IM-PDFDirectPrint	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfdp/issues?query_id=954
IM-PDFTimeStamper	https://issue.intra-mart.jp/projects/pdfds/issues?query_id=955

要件情報公開サイト: 2024 Spring対応要件へのリンク②

製品・機能	対応要件一覧URL
IM-RPA	https://issue.intra-mart.jp/projects/rpa/issues?query_id=956
IM-Sign	https://issue.intra-mart.jp/projects/sign/issues?query_id=957
intra-mart Accel Archiver	https://issue.intra-mart.jp/projects/iaa/issues?query_id=958
intra-mart Accel Documents	https://issue.intra-mart.jp/projects/iad/issues?query_id=959

- 当資料はアップデートの主要トピックスに限定した説明資料です。
アップデートに関する情報は要件情報公開サイトをご参照下さい。
<https://issue.intra-mart.jp/>
- システム要件や制限事項につきましては各製品のリリースノートを必ずご確認ください。
<https://www.intra-mart.jp/document/library/>

ご質問等ございましたら、下記へお問い合わせください。



株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・イントラマート
セールス&マーケティング本部

メール :

contact@intra-mart.jp

お問い合わせフォーム :

<https://www.intra-mart.jp/inquiry.html>